

地方創生：都市に住む若者たち

座談会③札幌で生活する若者にお聞きます！

都市で働くこと・生活することの魅力とは？新冠の魅力とは？

今、札幌などの都市圏に生活する新冠町出身の若者は、ふるさと新冠について、どのように感じているのか。専門学校や大学を卒業したあと、新冠で働くのではなく、なぜ、都会で働くことにしたのか。

そして、数年働いた今、忙しい毎日の中にも、少し自分の回りを見直す余裕ができたとき、ふるさと新冠はどのように映り、どのような魅力を感じているのか。若者の意見をお聞きしました。

座談会には、24歳から27歳の男女4名に参加を依頼しており、急ぎよ男性が、仕事の都合により、急ぎよ男性2名が参加できなくなりました。そのため、武田さんと中本さんの女性2名にお話を伺いました。

今回は、男性の意見を聞くことはできませんでしたが、札幌で働く女性の率直な意見をお聞きすることができました。

新冠を離れてから・現在の仕事について
武田 私は、18歳から21歳までアメリカにいました。短大に2年間在籍し、最後の1年間は、現地の日本系旅行会社で勤務していました。その後、1年間オーストラリアにワーキングホリデー留学をして、現在、札幌市内の旅行会社に勤務しています。



仕事は、主に、外国人旅行者を対応する部署にいて、お客さんと一緒に道内各地を飛び回っています。

中本 私は、保育の専門学校を卒業後、札幌市東区の保育所で保育士となり、今年で7年目になります。現在は、副主任として勤務していて、毎日、たくさんの子どもたちと一緒に過ごしています。

新冠で生活することを考えたことは？
中本 今のところ新冠で生活する予定はありません。

札幌に住み始めた時は、都市への憧れが強く、お洒落なレストランで食事をしたり、いつでも面白い物がでる場所に住めることに魅力を感じていましたが、少し歳を重ね、今考えることは、新冠で保育の仕事が続けられるだろうか、研修の場など、自分がレベルアップできる場所があるだろうかとか考えたりします。



武田 私が札幌に来た一番の理由は仕事です。そして、就職する時に一番こだわったのは、英語のスキルを生かせる仕事に就くことでした。今まで勉強してきた英語を使って仕事をしたいと考えていました。

そして、私が感じていることは、都会の方が競争があり、自分自身が成長できる感じがします。学生時代に必死になって勉強し、これをさらにレベルアップをさせていくためには、都会はいい環境だと思います。



武田 恵
 たけだ めぐみ
 新冠町を離れてから…
 静内高校を卒業後、英語を学ぶため渡米し短大に入学、卒業後、日本系旅行会社で1年勤務。その後、渡豪し1年間ワーキング・ホリデー留学をして、帰国後、札幌の旅行会社に勤務。現在2年目。

中本 そうですね。学費や生活費を負担してもらい、親にお世話になったので、その部分は無駄にしたいくないという思いがあります。

武田 私がオーストラリアから帰ってきた時、私も友人も新冠が大好きなので、どうにか新冠で働けないかと考え、起業することも考えました。

例えば、トリマーや会計、エステ、接客業をする友人が集まり、仕事ができる仕組みづくりができないかと考えたりもしましたが、現実には難しく、札幌の会社に就職しました。

もし、その時に何か起業支援の制度があれば、もしかしたら、新冠で起業していたかもしれませんね。

司会 新冠で生活している同級生は、たくさんいますか？

中本 今、私の知り合いで新冠で生活している人は、実家が農家や自営業

地方創生：都市に住む若者たち



中本 加奈
 なかもと かな
 新冠町を離れてから…
 静内高校を卒業後、子どもと関われる仕事をしたいとの思いから、札幌市内の専門学校に入学。保育士と幼稚園教諭の資格をとり、卒業後、札幌市内の認可保育所に勤務。現在7年目。

で仕事を継ぐ予定の人と、高校を卒業して地元企業に就職した人がほとんどです。

武田 私の友人は、札幌の学校を卒業し、こども園や薬局で働いている友人もいますが、ほとんどの友人は自営業か高校卒業後に地元で就職できた人たちです。

生活するにはそこで働くことが必要ですが、一度町外に出てしまうと、地元の情報が無くなってしまい、就職が難しくなると感じます。

新冠の魅力はどこですか？
中本 今はまだ新冠での生活は考えられないですが、結婚して子育てをするなら新冠の環境は素晴らしいと思います。

札幌にも公園などがあります。やはり新冠は格別で、判官館など自然がいっぱいある場所があり、小さい時は楽しい経験をする事ができませんでした。その点は、札幌は選択肢が少ないと思います。

武田 そうですね、働くこととか、生活

認定こども園も、すぐ隣にレコードパークがあり、小川があり、遊具があり、贅沢な環境だと思います。

武田 私が小さい時は、サークルを通して、いろんな人に出会えたり、新冠のことを知れたと思います。今でもいい思い出がたくさんあります。子どもたちが参加して、体験できる場所がたくさんあることは新冠の魅力だと思います。

中本 兄弟も友人も、ほとんどが少年団やサークルで活動していました。異世代交流ができた、年の離れた人ともたくさん出会えたことは、財産になっていると思います。

あと、判官館での鳥ウオッチングや収穫体験など色々な事業が開かれており、子どもが自分で考え、主体的に参加できる事業があることは、素晴らしいと思います。



活することを考えなくてよかった時は最高だったんですけどね。(笑)

中本 出産したり子育てすることを現実的に考えると、安心して子どもを出産できるかとか、子どもが病気になった時に無理なく通院できるかとか、また、J.Rの問題なんかも気になりますね。

武田 私も、もし本当に戻るとすれば、結婚して旦那さんを見つけてからということも考えます。

同年代の地元の人ほとんど知り合いだし、出合いの場が少なく、なかなか新しい人と巡り合う機会も少ないと思うので。

これからの新冠との関わりについて
武田 私が札幌に住むことを選択した理由は、家族が住む新冠から遠くなく、いつでも帰ることができる場所であるということです。

そして、新冠で働くことも考えていましたが、いざ札幌で就職してみると、とても楽しくてやりがいもあり、このまま続けていきたいと感じるようになりました。

今、自分がやりたいことは、現在勤めている旅行会社のお客さんのほとんどが海外からの個人旅行者で、観光地を巡るよりも、美味しいものを食べたり、収穫体験をしたりすることを希望される方が多いので、新冠の魅力を伝え、



まちづくりアイデア募集中!
 町では、町民の皆さんからまちづくりのアイデアを募集しています。「住みよいまちにするため」「賑わいのあるまちにするため」皆さんのアイデアを教えてください。

提案方法は、町ホームページから7月24日配布の町政事務委託文書をご覧ください。

●お問い合わせ
 企画課まちづくりグループ企画係
 ☎0146-47-2498

今回の座談会では、平日の仕事が終わった後に1時間30分にわたり、お話しをしていただきました。若い女性の貴重な意見をいただくことができました。どうもありがとうございました。